

市政を問う！一般質問

3月定例会では8人の議員が17、18日に、市政各般にわたり一般質問を行いました。

※一般質問の原稿は発言議員自らが作成しています

ページ	氏名	質問項目
8	今井 伸治	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について ・小浜市観光まちづくりについて ・28 災について
9	風呂 繁昭	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度当初予算、経済と観光について
9	能登 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・0 歳児からの「ブックスタート事業」を求める ・市の会館およびセンター等の「使用制限」を問う ・小浜線を活性化
9	宮崎 治宇蔵	<ul style="list-style-type: none"> ・原発事故から2年、原発防災について ・木質バイオマスエネルギーの産業化について ・水道ビジョンについて ・北川水系河川整備計画について
10	清水 正信	<ul style="list-style-type: none"> ・総合交通網の整備について
10	下中 雅之	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜市の次世代育成支援施策について
11	三木 尚	<ul style="list-style-type: none"> ・小浜市の水道計画について
11	松崎 圭一郎	<ul style="list-style-type: none"> ・原発稼働停止が及ぼした経済影響について ・PM2.5 について ・拉致問題について

【問①】PM2.5の市民への注意喚起は。
 【答】微小粒子状物質（PM2.5）は、粒子の大きさが非常に小さいため、肺の奥深く入り、肺がん・呼吸系や、循環器系の健康被害が懸念されている。注意喚起は、市民へは音声告知放送やデータ放送で、保育園や小中学校へは電話などで速やかに連絡する。

【問②】外国人観光客の誘致に向けた観光基盤の整備や情報発信は。
 【答】外国人観光客に対する観光基盤の整備が必要と認識している。今年夏に世界15カ国125名の少年少女が参加する「世界少年野球福井大会」が本市を始め、嶺南一帯で開催されるので、小浜の魅力を感じてもらおう

【問③】災害ボランティアの受け入れ体制は。
 【答】災害ボランティアの受け入れ体制の整備などの必要性を確認し、この度民間4団体で「小浜市災害ボランティアセンター」を立ち上げたところである。



今井 伸治
議員

自然災害に対し、十分な知識と対策を！



【台風13号の慰霊碑（竹原）】

【問④】南川堤防の補強について。
 【答】台風13号による堤防決壊により、住民の生命と財産に大きな被害をもたらしたことで、河川に対する意識が高いことは認識している。災害の未然防止に向けた堤防の強化を積極的に今後も県に対して要望していく。

う、おもてなしの体制を整えたい。
 【問③】災害ボランティアの受け入れ体制は。
 【答】災害ボランティアの受け入れ体制の整備などの必要性を確認し、この度民間4団体で「小浜市災害ボランティアセンター」を立ち上げたところである。

一般質問



風呂 繁昭
議員

ちなかの賑わい創出にむけ、重伝建地区の景観形成の魅力アップ事業、観光推進にプレミアム商品券補助や企業振興助成等予算化した。

小浜市の機動的な経済活性化の政策は？

【問①】平成25年度当初予算の経済活性化と観光について、予算編成を見ますと厳しい経済状況と把握された中、経済対策の「経」もでてこない経済活性化の予算化は？3月補正予算においても1億4400万円基金へ繰り入れただけでは不十分ですか？
【答】税収減、税収減と言われますが平成23年度決算では前年度比約6000万円の増収です。企業誘致も基金積立も大事ですが既存の企業「企業立地」支援を推進し景気の底上げを願うばかりです。厳しい経済状況に対する当初予算にどう反映したのか？
【答】市民の安心安全のための防災行政無線整備、学校耐震化工事や今富公民館建設、ま

【問②】商工会議所関係の補助金が10年前に比べると半減しているが、活性化に繋がる支援はできないか？
【答】地域力活用支援事業に取り組み。
【問③】ブランド力をつければ産業力アップに繋がる、地力アップの支援はできないか？
【答】農林水産物を用いて商品開発販売者に市独自の補助制度創設。
【問④】製造業等、理工系の人材確保の為奨学金制度の支援策は？
【答】県の制度を活用し今後人材確保の有効な方策を検討する。
【問⑤】歴史文化を活かした地域、人づくりは。
【答】重伝建保存地区の街路に面する修理、修景の助成率、限度額を引き上げて事業促進に繋げていく。



能登 恵子
議員

【問①】「0歳児からブックスタート事業を求め」(A)0歳児に絵本が果たす役割は？
【答】全国50%の自治体ですで行われているブックスタート事業とは、絵本をただプレゼントするのはなく、両親と一緒に本を開き楽しいひとときを分かち合うきっかけづくりです。子育て支援にも効果があり、本のプレゼントは無いけれど小浜市もボランティアの力をお借りして読み聞かせをしている。(B)一生の宝となる絵本のプレゼントと親子の子育て支援を兼ねた、この事業を進めるべきでは。
【答】いじめの問題の原因も0歳児から親子の触れ合いが大切と思う。ブックスタートを

成熟した社会は人を育てる！

きつかけとして、各課と認識を共有しボランティアとの連携が必要。
【問②】市の貸し会館等の「使用の制限」を統一して、公的施設として信頼を損なうことが無いよう、安全対策を求め。
【答】施設の利用基準に基づき使用許可を出す、営業活動の内容まで審査は難しいが、悪質商法などの対処として消費者教育に取り組み。
【問③】小浜線活性化の為、SLやラッピング列車を走らせては？
【答】JRと調整も必要であるが、まずは嶺南広域行政組合とともに検討していきたい。
【再質疑】嶺南広域行政組合の管理者は「ラッピング」の方は、是非検討したい。特に小浜線を利用した取り組みは、取り組まなくてはならない事業と認識を致しております。」と答えた。この答は2市4町長の総意か。
【答】(市長)総意である。



宮崎治宇蔵
議員

【問①】福島原発事故から2年が経過したが、この事故を踏まえた市長の見解を伺いたい。
【答】国や県、電力事業者に対し、原子力発電所の安全、管理体制の徹底や地震、津波時の際の安全対策を強く求めるとともに、市の地域防災計画を早急に改定できるように全力を尽くしたい。
【問②】町おこしと循環型社会構築のために小浜市で木質バイオマス発電に取り組むことができないか伺う。
【答】未利用間伐材等を原料とした木質バイオマス発電は、他の再生可能エネルギーによる発電とは異なり、収集、運搬等の工程を経過して発電施設にバイオマスを搬入するプロ

58億円の浄水場建設計画は見直すべき！

セスが必要であり、林業振興や雇用創出などの効果も期待されることから、継続して検討していきたい。
【問③】地下水調査の結果、飲料水として使用できる地下水が確保できた場合、市民にどのように説明していくのか、市長に伺う。
【答】浄水場建設事業は、大きな事業費を伴った市民生活に大きな影響を与える一大プロジェクトと位置付けている。調査結果が出た段階で浄水場建設事業の規模、建設時期などについて判断していきたい。
【問④】北川水系河川整備計画における治水、危機管理の具体的な対策について伺う。
【答】本年度から河道掘削に国の直轄事業として着手する。江古川住民への浸水避難の目安となる量水板を設置予定で災害の未然防止に向けて協議を重ねていく。



清水 正信
議員

【問】平成7年に起きた阪神淡路大震災の際には太平洋側の主要道路が通行不能となり、迂回路として国道27号が重要な役割を果たした幹線道路の重要性を改めて痛感した。また、東日本大震災から2年が経ち、小浜市では自家用車を使用した避難が現実的であり、舞鶴若狭自動車道の全線開通が待ち望まれる。そこで、国道303号の地域高規格道路化など災害に強い道路整備に向けた取り組みは。

若狭に「ひかり」を！

【問】鉄道網の整備について、小浜線電化から10年、当時の小浜線利用者数は一日当たり5000人以上、現在は約4200人。小浜線は嶺南全体で支えていかなければならない。一方、琵琶湖若狭湾快速鉄道の建設に向けた運動は20年以上経過したが、建設財源収支採算性等何も課題が解決できない。もう結論を出す時。もう一方で北陸新幹線若狭ルートは封印されてきたが、敦賀まで認可、着工された今、若狭ルート実現に嶺南地域、福井県が一致団結することが重要で、その取り組みを問う。

【答】嶺南市町議長会、嶺南広域行政組合等ともフル規格による若狭ルート実現を強く訴えてきた。国土はもとより、福井県の均衡ある発展と北陸、関西の一体的な進行、強靱な国土形成に不可欠である。



下中 雅之
議員

子育て支援は地域一体の取り組みが重要！

【問①】仕事と子育ての両立支援に対する取り組みを問う。

【答】子育て家庭が安心して働くことができよう、通常の保育に加え、一時保育、夜間保育、病後児保育事業などきめ細やかなサポートを行っている。また、放課後児童クラブを開設し、昼間保護者がいない家庭の小学生児童を受け入れ、育成・指導を行っている。

【問②】子どもが病気になるたとき、保護者の仕事などの事情により、一時的に子どもを預かる病児保育設置に対する考えを問う。

【答】病児保育については、看護師や保育士配置、トイレ等専用スペースの確保が課題であるが、病後児保育の委託先である小浜病院と協議を行っていききたい。

【問③】国では、本年4月に子ども子育て会議が設置され、市町村においては努力義務としているが、小浜市ではどのように取り組まれているのか。

【答】本市においては、市長の諮問機関である「小浜市児童福祉審議会」に、子育て当事者や教育・保育事業関係者に新たに臨時委員として参画いただき、この組織で新制度施行に向けた取り組みを進めていきたいと考える。

【問④】次世代育成に対する市長の考えは。

【答】子どもは社会の希望・未来をつくる力であり、健やかな育ちは大人にとって願いであり喜びでもある。今後も安心して子どもを生み育てられるよう地域における子育て支援や安心、安全な環境づくり、教育環境の整備、仕事と育児の両立の推進などを進めていく。

可決した意見書

過疎地の郵便局効率化推進に反対を求める意見書

改正郵政民営化法（以下改正民営化法）が成立し、三事業一体サービスの確保、金融ユニバーサルサービスが義務付けられたが、昨年10月1日から発足した日本郵便株式会社に於いて実施を検討されている過疎地の郵便局を隔日営業や半日営業とするところが実施されれば、地域住民にとって非常に不便なものとなり、改正民営化法の趣旨にも抵触することとなる。

また、隔日営業、半日営業の実施は過疎地域の郵便局の廃止にもつながっていくのは目に見えている。全国の農業協同組合の支所が合理化により閉鎖された今、金融機関が郵便局しかない地域もある。郵便局が合理化されると地域の衰退も一層進むのは明らかである。

地域再生・地域振興の核となる郵便局は、過疎地域にとって必要不可欠であり、過疎地の郵便局の隔日営業や半日営業などの検討に反対するものである。

一般質問

【問】今議会には2年半に亘り継続して反対してきた「浄水場建設」の関連予算が初めて上程され重大な決意で一般質問に立ちました。市長の所信表明では気候変動による水源減少と水質悪化の懸念から小浜平野の地下水調査を3カ年6364万円で実施する。これまで市側は「浄水場の建設中止は考えていない」との立場です。私は一貫して「小浜の地下水は良質で大変豊か」であり「現在の水源を大切に使い続ける」ことこそ市民の利益だと根拠を示し強く訴えてきました。①小浜市街の地下を流れ小浜湾に湧出する地下水は1日当り65万トンの平均利用量の30倍以上と推計される。②小浜



三木 尚
議員

小浜の地下水を地域活性化策に！

では気候変動による降水量の減少は見られない。③現在の下水道4水源の量質に懸念はなく将来の心配も具体性がない。④浄水場建設時には水道料金は現在の3倍を越すことを再度指摘する。また議案の地下水調査計画の不備を詳細に質す。

【答】（市長）調査は県立大学とも連携し市民参加の体制で調査内容を水道問題に限定することなく当市発展のための地下水調査に変え多方面に活用する。浄水場建設に関しては市民にとって最良の選択を行う。

【意見】理事者との議論の末、右の答弁を市長から引き出しました。多額の経費をかける調査ですので小浜市の誇れる地下水を市民生活、産業、観光、教育、自然環境保全等、多方面に活用できる大切な資源として後の世代に引き継げる様な成果を強く望みます。

原発稼働停止が及ぼした経済影響について

【問①】県が、原発の長期運転停止が嶺南の経済に与える影響を探るために、原発と取引のある事業所を対象に聞き取り調査をしたところ、「事業所の売上減少幅は、平均20%で、建設業は定検や維持補修工事が無くなり30%の減、旅館やホテルは風評被害等により13%の減、中でもタクシー、飲食店には多大な影響がある。特に原電作業員向けの民宿は70%近く減る深刻な事態となっている。更に雇用に関しても事業主の都合による解雇者の求職が1月前年同期で3割増加、雇用調整をしている実態が明らかとなった」このような状況下、当市の場合は



松崎圭一郎
議員

原発稼働停止が及ぼした経済影響！

いかがか。

【答】景況調査では、バス等の輸送関係が、原電停止の影響を受けている。また、風評被害により、入込客数、宿泊者数が減少している。

【問②】今後、ますます雇用悪化が懸念される中、市の対応は。

【答】社会人採用枠を設けて、原発関係の職務経験のある職員が必要となれば、正規・嘱託職員としての採用を検討したい。

PM2.5について

【問】PM2.5への特殊防御マスクは、今後入手困難が懸念される。行政で、無料あるいは斡旋できないか。

【答】汚染状況が悪化した場合、国や県の動向を見極め検討したい。

拉致問題について

【問】新年度の目標は。

【答】安倍内閣と共に問題解決に向けて全力を傾けたい。

議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

— 6月定例会の予定 —

6月 3日（月）本会議
6月13日（木）一般質問
6月14日（金）一般質問
6月21日（金）本会議

今日の表紙

上段 小浜市スキー連盟

2月3日、今庄365スキー場で小浜市スキー連盟主催の子どもスキー教室の様子。毎年、市内小学生を中心にスキーの指導を行っています。

下段 若狭ウインドアンサンブル

2月24日、文化会館で行われた若狭ウインドアンサンブルの定期演奏会。今回で15回目を迎え、会場の聴衆を美しい音色で魅了しました。



【浅草の商店街で記念撮影】

小浜中学校 修学旅行での体験活動

PR 販売活動 1 組実行委員長
もんかわようた
門川洋太さん（3年生）にインタビュー



▶**体験の内容は** 修学旅行中に東京の浅草で小浜の食べ物や特産を販売しました ▶**成果は** 予想以上の売れ行きでした ▶**うれしかったことは**

小浜の食べ物を「おいしい」と聞いたときです ▶**小浜の好きなのところは** 食べ物がおいしく、海がきれいなこと ▶**こうしたら小浜はよくなる** 浅草のように商店街がもっと活性化したり、大きな買い物ができる場所があったりするとういいですね



【真剣に練習に打ち込む部員】

小浜第二中学校 和気あいあいの合唱部

合唱部部长
ゆぐち
湯口あかねさん（3年生）にインタビュー



▶**部員数は** 13人 ▶**部活で頑張っていること** 夏の大会に向けて毎日猛特訓中です ▶**部活の好きなのところは** 顧問の先生の指導がよく、また引退した先輩が励ましにきてくれることです ▶**小浜の好きなのところは** 自然が多くいつまでも残っていてほしいですね ▶**これだけはわかってほしい** 合唱部は暗いイメージがありますが、運動部のようにランニングもし、練習も和気あいあいと明るい部活です

中学生のガンバリ!

会場は宮川、松永、口名田！ 議会報告会を開催します

議会基本条例の制定後、初めての議会報告会を3会場同時に開催します。

とき 5月11日（土） 19時～21時
ところ 宮川公民館・松永公民館・口名田公民館
内容 議会改革の取り組み、3月定例会の報告、防災について、意見交換会など

地区外の方でも参加OK



【編集作業の様子】

広報委員会
委員長 宮崎治宇蔵
副委員長 小澤長純
委員 西本清司
松崎圭一郎
三木尚
上野精一

（広報委員 松崎）
議会だよりの編集は、6人の委員が親しみやすい、わかりやすいをモットーに、試行錯誤を繰り返しながら、この1年間を鋭意紙面づくりに勤しんできました。しかし、号を重ねるたびに、文字媒体で伝える難しさをいやというほど思い知らされました。今回から紙面をリニューアルしましたが、現在の委員での最後の編集です。次号から新メンバーで発行されますので、乞うご期待ください。

編集後記